

## 視能訓練士学科(昼間部3年制)

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎分野	教育学 Pedagogy	必修	講義	30	(2)	30						教育とは何か、家庭・社会・学校との関わりの中での人の役割や発達を考える。また乳幼児期からの成長にとって良い環境とは何かを述べるができるようになる。
	医療倫理学 Ethics	"	"	30	(2)			30				医療倫理の概念を学習し、その歴史や人間を深く捉えることの意味を追求する。人間理解の多様性について考えることができるようになる。
	スポーツと健康 I Sports and Health I	"	"	30	(2)	30						高齢化社会の中で、生涯の生活に必要な身体の健康と精神の健康について説明できるようになる。
	スポーツと健康 II (実習) Sports and Health II (lab)	"	実習	30	(1)		30					生涯の生活に必要な健康や体力づくりを実技を通して運動生理学的に理解できるようになる。
	英語 I English I	"	講義	30	(2)	30						コミュニケーションの1つとしての日常英会話に慣れ、日常英会話を使うことができるようになる。
	英語 II English II	"	"	30	(2)		30					Listeningを中心とし、文法を理解し聞き取ることができるようになる。
	英語 III English III	"	"	30	(2)			30				文法、語彙力の基礎を固め、書く、読む、聞く、話すの4技能をバランスよく身につけることができるようになる。
	英語 IV English IV	"	"	30	(2)				30			眼科医用英語を学び、英語での眼科文献が読めるようになる。また眼科検査における実践的臨床英会話を使えるようになる。
	基礎教養 I General Education I	"	"	30	(2)	30						四則演算、漢字、四字熟語などを中心に基礎学力を身につけることができる。
	基礎教養 II General Education II	"	"	30	(2)		30					視能訓練士として必要な計算ができるようになる。語彙力・読解力を伸ばし、文章全体の意味理解ができるようになる。
	文章表現 Literature Writing	"	"	15	(1)				15			文章の構成や表現方法を学び自分の考えを書くことができるようになる。また、状況に応じた文章が書けるようになる。
	人間関係論 I Human Relationship I	"	演習	30	(1)	30						社会人としてのマナーを身につけ、ポートフォリオを通じて自己肯定感を養い、よりよい人間関係を築くことができるようになる。
	人間関係論 II Human Relationship II	"	"	30	(1)		30					演習を通して医療人としてのコミュニケーション能力を向上させ、患者様へのわかりやすい説明ができるようになる。
	医療事務総論演習 I General Medical Clerical Work (exercise) I	"	"	30	(1)			30				コスト意識を持った医療人としての心構えを身につけ、医療保険制度について理解できるようになる。
	医療事務総論演習 II General Medical Clerical Work (exercise) II	"	"	30	(1)				30			医療行為と保険点数計算の演習を通して、医療事務の基本業務ができるようになる。

## 視能訓練士学科(昼間部3年制)

系列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要	
							前期	後期	前期	後期	前期	後期		
基礎分野	科学的 思考の基盤 人間と生活 人	キャリアマネジメント 論 Career Management	必修	講義	15	(1)				15			仕事とは何かを考え、自身のキャリアデザインを構築できるようになる。履歴書作成、模擬面接、筆記試験など就職試験の準備ができるようになる。	
		医療管理総論 Healthcare Administrator	〃	〃	15	(1)				15			医療の仕組み、病院・医院の定義などを学習し、視能訓練士を取り巻く環境について説明できるようになる。	
専門基礎分野	人体の 構造と機能 及び心身の 発達  疾病と障害 の成り立ち 及び回復過 程の促進	解剖生理学 I Anatomy Physiology I	〃	〃	30	(2)	30						身体各器官の名称・構造など、正常構成を説明できるようになる。	
		解剖生理学 II (実習) Anatomy Physiology II	〃	実習	30	(1)		30					各器官の位置・形状・構造の学習をし、各器官の働きが理解できるようになる。	
		心理学 Psychology	〃	講義	30	(2)	30						心理学の基礎から学び、知能、学習、情緒、発達などの人間の心理や行動の奥にある原理が説明できるようになる。	
		生物学 I Biology I	〃	〃	30	(2)	30						動物分類、細胞、組織発生、遺伝について学び、生物を系統的に説明できるようになる。	
		生物学 II Biology II	〃	〃	30	(2)		30					生体のしくみを学び、生物の生命現象の基本的理解ができるようになる。	
		公衆衛生 Basic Public Hygiene	〃	〃	15	(1)	15							健康をめぐる社会医学的な諸問題について学び、現代社会における生活環境と行政の関わりについて説明できるようになる。
		精神保健 Psychiatric Hygiene	〃	〃	15	(1)	15							人間のライフサイクルに応じた精神衛生について学び、その障害について説明できるようになる。
		眼疾病学 I Ophthalmic Disease Studies I	〃	〃	30	(2)		30						数々の眼科的疾患について解剖学的部位別に系統立てて学習し、疾患と各種検査の関連について説明できるようになる。
		眼疾病学 II Ophthalmic Disease Studies II	〃	〃	30	(2)			30					眼科的疾患及び眼科関連全身疾患について学習し、成人と小児の疾患の違いを視能矯正学と関連づけて説明できるようになる。
		全身疾病学 Systemic Disease Studies	〃	〃	30	(2)				30				小児の発達と眼疾患を伴う全身疾患・症候群について学ぶ。また生活習慣病の原因となる疾患について説明できるようになる。
社会福祉 Social Welfare	〃	〃	30	(2)						30		社会福祉とは何か、対象者への関心と理解を深め、視能訓練士の立場からできることは何かを説明できるようになる。		
臨床心理学 Clinical Psychology	〃	〃	30	(2)							30	心理アセスメントを通し、自らの性格傾向を知る。検査・治療・訓練を受ける患者様の心理を理解し、より良い信頼関係を形成する為の手法について理解できるようになる。		

## 視能訓練士学科(昼間部3年制)

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門基礎分野	情報科学 Information Science	必修	講義	30	(2)			30				コンピュータの代表的なソフトウェアを使用し、医療のIT化に対応できるよう基本スキルを修得できるようになる。
	数学・統計学 Mathematics /Statistics	〃	〃	15	(1)		15					統計、確率等の数学的分野を学ぶと同時に、医学分野における統計学の必要性を理解し、基本統計ができるようになる。
	視器の解剖生理・ 病理学Ⅰ Eyeball Anatomy Physiology MedicineⅠ	〃	〃	30	(2)	30						眼球ならびに眼瞼・外眼筋・涙液などの解剖・生理・病理について学習し、眼科学の基本知識を修得できるようになる。
	視器の解剖生理・ 病理学Ⅱ Eyeball Anatomy Physiology MedicineⅡ	〃	〃	30	(2)		30					眼の自律神経支配、視覚伝導路、外眼筋の解剖や作用について学習し、その障害についても説明できるようになる。
	視器の解剖生理・ 病理学Ⅲ Eyeball Anatomy Physiology MedicineⅢ	〃	〃	30	(2)			30				眼圧検査、角膜検査、涙液検査など、前眼部に関わる眼科検査の種類や正常値が理解できるようになる。
	視器の解剖生理・ 病理学実習 Eyeball Anatomy Physiology Medicine(lab)	〃	実習	30	(1)	30						眼球および眼球付属器に関する検査の種類・方法を学び、実際に検査できるようになる。
	関係法規・医学概論 Related Regulations Basic Medicine	〃	講義	15	(1)	15						視能訓練士法を理解し特殊専門性の意義を学ぶ。医学全般を要約しつつ、その進歩の歴史を学び、基本的理解ができるようになる。
	保育(発達) Child Education	〃	〃	30	(2)		30					保育の基礎を学び、動画教材を通じて乳幼児の発達と保育者の関わりについて説明ができるようになる。
	視覚障害総論 (法律・等級・補助具) Visual Disordar	〃	〃	15	(1)			15				視覚障害の定義、視覚障害に関する法律と等級についての基礎知識を習得する。また眼疾患と障害の関係について理解できるようになる。
	視覚障害総論演習 Visual Disordar (lab)	〃	演習	30	(1)		30					弱視眼鏡、拡大読書器、ルーベ、白杖などを実習し、処方の方を学ぶ。また視覚障害者の疑似体験や施設見学を通して視能訓練士の役割を説明できるようになる。
看護学概論 General Nursing	〃	講義	15	(1)				15			看護学や清潔不潔の概念、救急処置の方法を学ぶことにより、看護師と視能訓練士とのより良い連携について説明できるようになる。	
専門分野	物理学 Physics	〃	〃	15	(1)		15					物理学の法則や原理について、幾何光学に関する分野を中心に学習し、屈折矯正レンズに活用できるようになる。
	視覚生理学Ⅰ Visual PhysiologyⅠ	〃	〃	30	(2)	30						眼・視神経・脳のそれぞれの視覚への関わり方・役割・機能について学び、視覚生理学検査に活用できるようになる。
	生理光学Ⅰ Physiological Optics Ⅰ	〃	〃	30	(2)	30						屈折・瞳孔・調節の生理と機構、ならびに屈折異常について学習し、眼球の光学的理解ができるようになる。

## 視能訓練士学科(昼間部3年制)

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門分野	基礎 視能 矯正学	視能矯正学総論Ⅰ Basic OrthopticsⅠ	必修	講義	30	(2)	30					視能訓練士の歴史、視能矯正の枠組み、斜視・弱視の定義について学び、視能訓練士業務の理解ができるようになる。
		視能矯正学総論Ⅱ Basic OrthopticsⅡ	"	"	30	(2)	30					外眼筋の作用と眼球運動、輻湊・開散・調節について学び、両眼視の正常な発達が理解できるようになる。
		視能矯正学総論Ⅲ Basic OrthopticsⅢ	"	"	30	(2)	30					異常な両眼視について学び、斜視・弱視の発症との関わりについて理解できるようになる。
		視覚生理学Ⅱ Visual PhysiologyⅡ	"	"	30	(2)	30					視野検査を中心にその測定原理と方法について学習し、視野検査等の実施に活用できるようになる。
		視覚生理学Ⅲ Visual PhysiologyⅢ	"	"	30	(2)			30			電気生理学検査を中心にその測定原理と方法を学び、検査の実施に活用できるようになる。
		視覚生理学実習 Visual Physiology(lab)	"	実習	30	(1)			30			視力検査・視野検査・明暗順応検査・電気生理学的検査の仕組みを理解し検査できるようになる。
		生理光学Ⅱ Physiological Optics Ⅱ	"	講義	30	(2)	30					視力検査の基本、他覚的屈折検査、スキアスコップ、自覚的屈折検査の理論と方法が理解できるようになる。
		生理光学Ⅲ Physiological Optics Ⅲ	"	"	30	(2)			30			眼鏡、コンタクトレンズなどによる屈折矯正の方法を学ぶ。また小児に即した視力検査方法の活用ができるようになる。
		生理光学実習 Physiological Optics (lab)	"	実習	30	(1)			30			屈折検査、調節検査、コンタクトレンズの調整や装用練習にいたるまで、光学機器を用い実践できるようになる。またスキアスコップの修得ができるようになる。
		医療光学機器概論 Basic Medical Engineering	"	演習	30	(1)			30			眼科における写真撮影検査の理論・手法を学び、眼科医療現場で必要な写真が撮れるようになる。
		視能検査学Ⅰ Orthoptic Examination Ⅰ	"	講義	30	(2)			30			斜視検査の原理・方法を学び、斜視の定性・定量検査の理解ができるようになる。
		視能検査学Ⅱ Orthoptic Examination Ⅱ	"	"	30	(2)			30			両眼視機能検査、立体視検査、網膜対応検査等の原理・方法が理解できるようになる。
	視能検査学Ⅲ Orthoptic Examination Ⅲ	"	"	30	(2)					30	症例を通して、眼振や眼球運動検査、両眼視機能検査とその結果の理解ができるようになる。	

## 視能訓練士学科(昼間部3年制)

系列	開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期		
専門分野	視能検査学	視能検査学実習Ⅰ Orthoptic Examination (practical training) I	必修	実習	30	(1)			30				視能検査(屈折、視野など)について、臨床を想定した実習ができるようになる。
		視能検査学実習Ⅱ Orthoptic Examination (practical training) II	"	"	30	(1)				30			視能検査(斜視、両眼視など)について臨床を想定した実習ができるようになる。
		視能検査学総合実習Ⅰ Comprehensive Orthoptic Examination (practical training) I	"	"	30	(1)			30				他学科との演習や面接OSCEなどを通し、チーム医療や視能訓練士としての仕事の全体像が理解できるようになる。
		視能検査学総合実習Ⅱ Comprehensive Orthoptic Examination (practical training) II	"	"	60	(2)				60			最新検査機器やコンタクトレンズ実習を行う。また幼稚園検診、実習前実技試験などを通して、場面に即した検査ができるようになる。
		視能検査学総合実習Ⅲ Comprehensive Orthoptic Examination (practical training) III	"	"	30	(1)					30		実習前問診OCSEを通して、目的に合った検査を組み立てて実施できるようになる。
		視能検査学総合実習Ⅳ Comprehensive Orthoptic Examination (practical training) IV	"	"	30	(1)						30	幼児から老人までを想定した実習を通し、患者全体像を診て問題解決することができるようになる。
	視能障害学	眼科薬理学 Ophthalmic Medication	"	講義	30	(2)				30			視器に関わる自律神経・中枢神経・末梢神経系の働きと、それらの神経に関する薬剤の効果、ならびに眼疾患・眼科関連全身疾患と薬剤の副作用が理解できるようになる。
		神経眼科学Ⅰ Neuro Ophthalmology I	"	"	30	(2)			30				脳神経の機構を学び、視覚路及び眼球運動経路の解剖生理と頭蓋内疾患による眼科学的症状の理解ができるようになる。
		神経眼科学Ⅱ Neuro Ophthalmology II	"	"	30	(2)				30			脳神経と眼科学的疾患を理解したうえで、その検査法について学び、実際の検査が組み立てられるようになる。
	視能訓練学・視能訓練実習	視能矯正学各論Ⅰ Detailed Orthoptics I	"	"	30	(2)		30					内斜視および外斜視、斜視の各型、特殊斜視・麻痺性斜視の各型と臨床的特徴の理解ができるようになる。
		視能矯正学各論Ⅱ Detailed Orthoptics II	"	"	30	(2)			30				心因性視力障害、弱視総論、弱視治療の原理と原則について理解できるようになる。
		視能矯正学各論Ⅲ Detailed Orthoptics III	"	"	30	(2)				30			斜視の非観血的治療方法と観血的治療方法についての基礎知識を学び、視能訓練への活用ができるようになる。
		視能矯正学各論Ⅳ Detailed Orthoptics IV	"	"	30	(2)					30		弱視の臨床症例を通して、弱視視能矯正訓練への活用ができるようになる。
		視能矯正学各論Ⅴ Detailed Orthoptics V	"	"	30	(2)					30		眼振の定義、病因論、分類、各型を理解し、その治療法について理解できるようになる。
		視能矯正学各論実習 Detailed Orthoptics (lab)	"	実習	90	(3)						90	視能矯正各論の講義をもとに斜視・弱視の検査・訓練治療法を行なうことができるようになる。

## 視能訓練士学科(昼間部3年制)

系列		開講科目名 (英語表記)	必修 選択	授業 形態	時間 数	単 位 数	1年		2年		3年		講義概要
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	
専門分野	臨地実習	臨地実習Ⅰ Clinical TrainingⅠ	必修	実習	45	(1)		45					臨床の場で、Dr.、視能訓練士、看護師、事務職との連携を学び、眼科検査の流れやチーム医療を理解できるようになる。
		臨地実習Ⅱ Clinical TrainingⅡ	〃	〃	180	(4)				180			医療倫理に基づいて視能訓練士にとって必要な臨床現場での問題解決能力を身につけ、今後の自己課題を見つけることができるようになる。
		臨地実習Ⅲ Clinical TrainingⅢ	〃	〃	405	(9)					405		学内実習での学びを医療現場で実践することができるようになる。また患者との関わり方・医療人としての自覚を再認識し、視能訓練士のあり方を理解できるようになる。
その他	国家試験演習	国家試験対策演習Ⅰ Prep for National ExaminationⅠ	〃	演習	30	(1)		30					国家試験受験に向けて学習習慣、学習方法の確立ができるようになる。
		国家試験対策演習Ⅱ Prep for National ExaminationⅡ	〃	〃	30	(1)			30				国家試験受験に向けて、主に基礎科目、専門基礎科目について理解できるようになる。
		国家試験対策演習Ⅲ Prep for National ExaminationⅢ	〃	〃	30	(1)				30			国家試験受験に向けてノート作成や協同学習の仕方など、実践的な学習方法を身につけることができる。
		国家試験対策演習Ⅳ Prep for National ExaminationⅣ	〃	〃	60	(2)					60		国家試験受験に向けて問題演習などに取り組み、基礎知識と専門科目とを結びつけ活用できるようになる。
		国家試験対策演習Ⅴ Prep for National ExaminationⅤ	〃	〃	90	(3)						90	これまでの総復習を行い、国家試験対策として出題傾向をさぐり、合格にむけて実力を向上させることができるようになる。
	卒業研究	研究方法論Ⅰ Research MethodologyⅠ	〃	講義	15	(1)			15				文献講読を通し、研究とは何か、研究デザインの手法を理解することができるようになる。
		研究方法論Ⅱ Research MethodologyⅡ	〃	〃	15	(1)				15			身近なテーマに関する研究計画を立て、実験、データ収集、集計、解析をすることができるようになる。
		卒業研究Ⅰ A Study of GraduateⅠ	〃	〃	30	(2)					30		実際に興味ある研究テーマを決め、論文検索、データ収集、分析、統計を行うことができるようになる。
		卒業研究Ⅱ A Study of GraduateⅡ	〃	〃	90	(6)						90	研究テーマについての分析、考察、結論を導き出し、ひとつの研究テーマについて論文を完成することができるようになる。
		総時間数			3090	(149)	465	525	510	615	525	450	